



印出 慎也 議員



専門職の市職員採用について

問 令和5年度職員採用試験実施状況から専門職の採用人数が予定人数を確保できていないが、人材確保のために令和6年度以降の新たな取り組みを伺う。

答（市長） 専門性の高い職員の確保は必要不可欠である。採用試験後に再度募集を行うのではなく、随時願書受付・採用を考えていくなど、現在の社会情勢に柔軟に対応できるよう採用の

タイミングの見直しを進める。

ごみ集積所について

問 ミニ開発（1,000平方メートル以下の開発）では集積所設置義務が無いため、現在ごみの出し方や集積所に困っている市民がいる。「古河市ごみ集積所等の設置に関する要綱」の見直しが必要と考えるが、市の見解を伺う。

答（市長） 市民の利便性向上のため、実情に即した柔軟な対応をしていきたい。まずは、市役所と自治会に相談してもらうことで、連携し合って問題解決ができると考える。

小中学校のトイレについて

問 市内小中学校における屋外トイレ数は県内トップの199カ所あるが、施設の維持管理は必須である。故障しているトイレについて、市の見解を伺う。

答（教育長） 児童生徒にとって安全で快適な学校施設を整備していくことは、大変重要である。指定避難所になっている学校もあるので、修繕を要するトイレについては早急に対応する。



総和北中学校屋外トイレ（故障中）



小林 登美子 議員



古河市の防災対策について

問 ①マイ・タイムライン[※]普及に向けた取り組み、②水害時での車を使用した避難、③ペットの避難、④給水車の活動内容、⑤防災会議等への女性参加、以上について伺う。

答（総務部長兼危機管理監） ①スマートフォンの作成ツールを公開し、広報等で周知している。②車での避難は時間がかかるため、警戒レベル3までの避難を

啓発している。③全指定避難所が同行でき、旧古河産業技術専門学院のみ屋内避難が可能である。スペースに限りがあるため、車中避難等を推奨している。⑤地域女性団体連絡会が委員として加入している。

答（上下水道部長） ④応急給水拠点等へ水を運搬している。



古河市洪水ハザードマップ・ガイドブック等のご活用を

消防団について

問 ①活動紹介動画のリニューアル、②消防ポンプ操法大会に向けた訓練、以上について伺う。

答（総務部長兼危機管理監） ①団員の確保につながるよう協議する。②大会ありきの訓練としないよう、消防団長の意向で訓練を20回程度とし、団員の負担軽減についても提案している。

「SDGs未来都市」選定について

問 ①選定された理由および主な内容、②EV、PHV等の購入時の補助金導入の予定、以上について伺う。

答（副市長） ①カーボンニュートラル実現に向けた企業との連携等が評価されたと考えている。

答（市民部長） ②現時点で導入予定はないが、市民のニーズ等を注視しつつ検討していく。

※マイ・タイムライン…災害が迫った際に自分がどのように行動するのか時系列でまとめた行動計画表